認知症ケアパス（本人・家族の安心と笑顔を奄美市で支援する）

ケアパスとは？認知症の方の状態に合わせた適切なサービス提供の流れをまとめたもの

軽度　　中度　　重度

経過 / 支援の内容	元気な時	認知症の疑い 少し物忘れが出てくる	認知症を有するが日常生活は自立 日常生活でのミスが出てくる	誰かの見守りがあれば日常生活は自立 お薬管理やお金の管理が出来なくなる	日常生活に手助け介護が必要 日常生活に支障が出る	常に介護が必要 介助なしでの生活が難しい
相談	対応方法や今後の支援・介護保険の申請などの相談 地域包括支援センター　名瀬地域包括支援センター（高齢者福祉課）：TEL52-1111（内線5031～5034） 住用地域包括支援センター（市民福祉課）：TEL69-2111（内線2321） 笠利地域包括支援センター（いきいき健康課）：TEL63-2299 在宅介護支援センター					
予防	地域健康教室・老人クラブ・自治会活動・認知症サポーター・認知症カフェ					
医療・介護	かかりつけ医・健診の受診 介護保険サービス（ケアマネージャー・訪問系サービス・通所系サービス） 物忘れ外来・認知症疾患医療センターの活用・認知症初期集中支援チーム員会議					
生活支援・見守り	シルバー人材センター 見守りネットワーク・民生委員・認知症サポーター・認知症の人と家族と支援者の会・結とも・有償ボランティア 福祉サービス利用支援事業・消費者トラブル窓口・成年後見人制度・緊急通報システム・はいかいSOSネットワーク					
住まい	在宅 有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅 グループホーム・小規模多機能事業所・特別養護老人ホーム・老人保健施設					

チェックリスト

自身の認知機能について各項目をチェックしてみましょう

項目	全くない（１点）	時々ある（２点）	頻繁にある（３点）	いつもそうだ（４点）
①財布や鍵など物を置いた場所が分からなくなることがありますか				
②5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか				
③周りから「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれますか				
④今日が何月何日か分からなくなる時がありますか				
⑤言おうとしている言葉が、すぐ出てこないことがありますか				
項目	問題なくできる（１点）	だいたいできる（２点）	あまりできない（3点）	できない（４点）
⑥貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは１人でできますか				
⑦１人で買い物にいけますか				
⑧バスや電車、自家用車を利用して1人で外出できますか				
⑨自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか				
⑩電話番号を調べて電話をかけることができますか				
計				

２０点以上の場合は、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。

相談窓口

	名前	住所	電話番号
専門外来	奄美病院 認知症疾患医療センター	奄美市名瀬浜里町170番	0997-52-0034
	大島郡医師会病院 物忘れ外来	奄美市名瀬小宿3411番地	0997-54-8111
若年性認知症相談窓口＊	若年性認知症相談支援 担当：堀之内広子氏 （鹿児島県若年性認知症支援コーディネーター）	鹿児島市鴨池新町1-7 鹿児島県社会福祉センター2F	099-251-4010
相談窓口	名瀬地域包括支援センター （高齢者福祉課）	奄美市名瀬幸町25番8号	0997-52-1111 (内線5031～5034)
	住用地域包括支援センター （市民福祉課）	奄美市住用町大字西仲間111	0997-69-2111 (内線2321)
	笠利地域包括支援センター （いきいき健康課）	奄美市笠利町大字中金久45	0997-63-2299

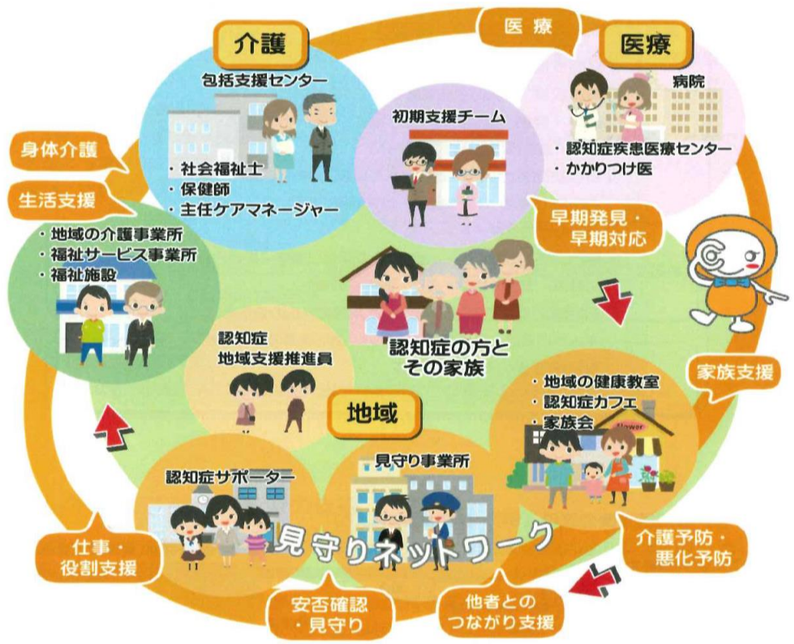
＊若年性認知症とは、65歳未満で認知症を発症した場合とされています

認知症ケアパス

ケアパスとは？

認知症の方の状態に合わせた適切なサービス提供の流れをまとめたもの

～本人・家族の安心と笑顔を奄美市で支援する～



認知症とは、脳の病気や障害など様々な原因により、認知機能が低下し日常生活全般に支障が出てくる状態をいいます。
認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく生活するために、地域の人が認知症について理解し、認知症を病気の一つとして自然に受け入れ、見守る環境が必要になります。このため、認知症サポーターキッズの育成や住民・企業等へ向けた認知症講座を通して、認知症について正しい知識の普及、情報提供や学習の機会の充実を図っています。

奄美市